

平成30年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

平成30年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

当年度は、5年間の計画期間である「第6期地域福祉実践計画」の3年目でした。

本実践計画に沿って、これまでどおり地域福祉への理解や意識を高め、地域住民や関係団体等と更に連携を密にし、地域における多様な福祉活動を推進し、地域の福祉力を高めるよう努めました。

また、これらの事業を効果的に推進していくために、運営体制や財源の確保など、安定した運営基盤の確立に努めました。

I. 地域福祉事業の推進

1. 社協事業

(1) 第6期地域福祉実践計画の推進

基本目標に掲げる福祉のまちづくりのために、この計画で取り組む市民の福祉課題と、課題を解決するための個別目標に基づき、実践項目について、その取り組み・目標を定めて、それぞれの年次計画を目途に関係機関と連携しながら検討、計画立案して取り組みを実施しました。以後、年度毎に実施状況を検証し、見直しを図りながら、取り組みを進めます。

○平成30年度実施状況

	新規実施	継続実施・継続中	検討中・未実施
実践項目数(全33項目)	2	27	4

※新規実施項目

- ・障がい者の社会参加と就労促進 障がい者が参加・活動しやすい環境づくり
 - 「事業配慮マニュアル」の策定(平成31年2月)
- ・市民ぐるみの地域福祉の推進 専門性の向上
 - 職員の専門資格取得(社会福祉士資格2名取得)

※未実施項目

- ・社会的孤立の解消 市民と専門機関の連携による社会的孤立者への支援
 - 地域福祉関係団体と相談支援機関との連携
- ・災害時に助け合う地域づくり 社協の災害時・非常時の体制づくり
 - 「災害ボランティアセンター(仮称)」の設置・運営 ○内部行動マニュアルの策定
- ・社会的障壁の除去(バリアフリー) 心のバリアフリーの啓蒙
 - 「心のバリアフリーブック(仮称)」の作成・配布
- ・社会的障壁の除去(バリアフリー) 学校と連携した福祉教育の推進
 - 「バリアフリーポスター展(仮称)」の実施

(2) 地域福祉会議

網走市内の関係機関・団体が連携・協力し、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心・安全に住み続けられる地域づくりの実現を目指し、網走市の地域福祉の推進を目的として開催しました。

○地域福祉会議、事務担当者会議

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回事務担当者会議	6月11日	・平成30年度網走市地域福祉会議事業計画案について ・社会福祉充実残額の報告
第1回地域福祉会議	7月6日	・平成29年度事業実績報告について ・平成30年度事業計画(案)について
第2回事務担当者会議	1月30日	・生活支援体制整備事業の進捗状況について ・平成31年度網走市地域福祉会議事業計画案について
第2回地域福祉会議	2月12日	・平成31年度事業計画(案)について

(3) 出前講座事業の実施

企業や学校をはじめ、老人クラブ、町内会、ふれあいの家等、地域住民から多くの依頼があり、社協役職員及び協力者（ボランティア等）により講座を実施しました。

年度	実施回数	受講者
平成30年度	45回（前年度28回）	1,234名（前年度684名）

(4) 地域福祉事業功労者の表彰（社協会長表彰）

社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰しました。

永年ボランティア活動	保科百合子、大川原藤子、大西三千雄、長祖信孝
------------	------------------------

4名（敬称略・順不同）

(5) 「サービス介助士検定資格」の普及

超高齢社会に対応した人づくり・環境づくりを推進することを目的として、NPO法人日本ケアフィットサービス協会が開発・認定する「サービス介助士」検定資格の取得講習や検定試験を実施しました。

なお当事業は、網走市より「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進、「障害者差別解消法」の普及、「心のバリアフリー」の醸成等を目的としているため、希望者に受講料が補助されています。

日 時 平成30年11月10日（土）～11日（日）

場 所 エコーセンター学習室

参加者

区分	参加者	備考
市補助対象者	12名	前年6名
社協職員	1名	前年1名
その他一般	3名	前年2名（他市からの参加）
合計	16名	前年9名

(6) 地域福祉推進事業（助成金）の交付

地域の福祉問題や課題を解決するために行なう住民や団体等が携わる事業に対して助成しました。

○選考委員会

内容	期日	会場
選考委員会	平成30年3月20日	総合福祉センター

○地域福祉推進事業助成金交付団体一覧

No	団体名	事業内容	助成金申請額
1	網走市立東小学校	藻琴クリーン作戦	20,000円
2	網走市立西小学校粋舞隊	高齢者福祉施設訪問及び いきいきチャリティーコンサート	20,000円
3	網走市立白鳥台小学校	「心を耕し、学びの種をまく」 ボランティア活動	20,000円
4	しゃーみん♪	しゃーみん♪活動費	30,000円
5	ハッピー育児サークルハピ育	あかちゃんづれで学ぼう ハッピー育児講座	50,000円
合 計			140,000円

○助成金交付式・説明会

内容	期日	会場
第一次助成交付式	5月25日	総合福祉センター
第二次助成交付式	10月16日	総合福祉センター

(7) 「ふれ愛ひろば網走2018」の開催

福祉団体や関係機関等と協力し開催するこの事業は、当年度で31回を数えました。8月最終日曜日の開催も定着して多くの来場者を迎えることができました。

期 日	行 事 名	会 場	参加者数
8月26日	ふれ愛ひろば網走2018	エコーセンター	約1,500名

(8) ボランティア活動の振興

①登録ボランティア数

年度	区 分	登録者数	うち新規登録者数	個人・団体 合計
28	個人登録	288人	23人	1,299人
	団体登録	1,011人(55団体)	56人(1団体)	
29	個人登録	288人	8人	1,306人
	団体登録	1,018人(54団体)	114人(1団体)	
30	個人登録	291人	11人	1,324人
	団体登録	1,033人(55団体)	15人(1団体)	

②ボランティア斡旋実績

※()は昨年度実績

活動区分	活動日数	活動実人数	延べ人数	主な活動内容
訪問活動	191(258)	143(151)	435(576)	高齢者・障がい者施設訪問(訪問交流、野外レクサポート等)
生活支援	7(1)	1(3)	7(3)	独居高齢者宅家屋清掃
育成活動	26(8)	16(20)	117(47)	福祉教育のサポート
行事活動	8(10)	33(49)	37(57)	網走市内(施設等)イベントサポート、託児
収集活動	62(107)	62(107)	62(107)	収集物寄贈、仕分け作業
合 計	294(384)	255(330)	658(790)	

③ボランティア活動実践者の担い手づくり

○つながろう！講座の実施

ボランティア活動の推進を図ることを目的として開催しました。

テ ー マ	と き	参加者
ボランティアをカラフルにコーディネート	10月18日	24名

○ヤングボランティア育成事業の実施

回	テ ー マ	と き	参加者
第1回	ヤングボランティア交流学習 in ネイパル北見 (ボランティアに役立つコミュニケーション学習)	9月8日 ～9日	中止
第2回	高校生が考える！作る！披露する！ クリスマス交流会(ボランティア会議)	11月4日	高校生21名
第3回	高校生が考える！作る！披露する！ クリスマス交流会	12月15日	高校生33名 (全体131名)

※市内の高校生を対象として、各校と内容を協議

○各種研修会への参加支援

研修名	と き	場 所	参加者
ボランティア・市民活動フォーラム	11月10日	北見市	23名

④ボランティア活動に関わる保険の加入受付

- ・ボランティア活動保険【対象：国内における自発かつ無償のボランティア活動】
- ・ボランティア行事用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】

- ・福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】
- ・送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

(9) 関係機関との連携

網走市地域福祉会議、地域包括支援センター、ケアマネジャー連絡協議会をはじめ、認知症介護研究会、被害者支援連絡協議会など様々な関係機関・団体と連携し、地域課題把握等の情報交換に努めました。

調査方法	内 容	対 応
訪問調査	寄せられた相談に対し、的確な派遣ができるよう必要に応じ訪問調査を行なう。	随時
地域ケア会議の出席	地域包括支援センターが必要に応じて実施している、地域単位でのケア会議へ積極的に参加し、ニーズ調査・検討及び対応を行なう。	随時
関係機関との連携	関係機関と連携を図りながらニーズ調査等を行なう。	随時

○参加する主な組織・団体

網走市社会を明るくする運動実行委員会	ふれ愛ひろば網走実行委員会
網走市外3町介護保険認定審査会	網走市厚生病院運営委員会
網走市福祉有償運送運営協議会	地域密着型サービス運営委員会
網走市生活安全連絡会議	SOSネットワーク
地域包括支援センター運営協議会	生活就労支援協議会
網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	網走市障がい者自立支援協議会
網走地区被害者支援連絡協議会	北網保健医療福祉圏域連携推進会議
網走市学校支援本部事業実行委員会	網走市子ども・子育て会議
網走市成年後見ネットワーク会議	網走市共同募金委員会
オホーツク網走マラソン実行委員会・部会	網走地方精神保健協会
網走市地域福祉計画策定委員会	

2. 受託事業

(1) 網走市市民活動センター管理運営事業

市民活動の促進を図るため、以下のとおり事業及び業務を行ないました。

- ・市民活動センターの保守管理 ・ボランティア活動保険事務に関する事項 ・市民活動の啓発及び普及
- ・市民活動の情報と資料の収集、提供 ・市民活動の調査、研究、研修 ・市民活動の相談、支援、調整

①来館者数、相談件数

年度	来館者	相談内容別（問い合わせ件数）										合計	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
28	1,437人												308件
29	927人	77件	83件	10件	54件	63件	59件	71件	0件	0件	9件		426件
30	693人	36件	36件	1件	18件	18件	36件	62件	45件	3件	0件		255件

※相談内容：①情報収集等 ②物品貸出について ③団体運営相談について ④ボランティア登録相談について
 ⑤ボランティア幹旋について ⑥ボランティア関係保険について ⑦収集活動について
 ⑧施設の利用について ⑨助成金・寄付・募金について ⑩その他

②ボランティア活動保険への加入

網走市では、市民活動やボランティア活動に携わる「ボランティア登録者」に対して、ボランティア活動保険の掛金を全額助成しており、本会で加入受付事務等を行ないました。

○平成30年度ボランティア保険加入者数（市助成分） 1,297人 掛金1人350円

③市民活動サポーターとの連携による来館者対応の充実

市民活動センターの来館者にとって、身近で気軽に利用できるような環境の充実を図りました。

- ・市民活動サポーターの当番制による来館者対応（毎週水曜日ほか）

④市民活動参加促進

誰もが参加しやすい活動を企画・実施し、市民活動の推進を図りました。

- ・つながろう！市民誰でも清掃活動

回数	開催日	実施場所	参加者	収集数
第1回	5月12日（土）	藻琴海岸	110名	約50袋
第2回	7月29日（日）	海岸町海岸	70名	約40袋
第3回	10月22日（日）	海岸町海岸	雨天中止	雨天中止

⑤市民活動支援セミナー

市民活動実践者の活動上の課題や地域問題に対して、課題解決をしていくために必要な知識や技術を学ぶことで市民活動の促進を図りました。

テーマ	開催日・開催場所	参加者
みんなで課題を解決！～円滑に進める話し合いの作り方～	10月28日（日） 駒場住民センター	10名
地域をみんなで元気にする人づくりと出番づくり	1月26日（土） エコセンター2000	17名

⑥市民活動応援講座

市民活動団体の自発的な活動による地域課題解決のために、NPOの知識を学ぶことで市民活動の促進を図る。

テーマ	開催日・開催場所	参加者
心を通わせよう！市民活動を楽しむためのコミュニケーション術～きっとあなたも何かを始めたいくなる！～	12月2日（日） 北コミュニティセンター	19名

⑦市民活動に関する啓発活動

- 情報紙「夢ポケット」の発行

発行日	偶数月の15日頃（年6回発行）		【主な記事内容】 （1）ボランティア・市民活動の募集、紹介 （2）助成金情報 （3）ボランティア・市民活動に役立つ技術の紹介（ファシリテーションの技法） （4）災害ボランティアについて 他
発行号	96号	4月16日	
	97号	6月15日	
	98号	8月15日	
	99号	10月15日	
	100号	12月17日	
	101号	2月15日	
発行数	780部		
配布先	登録ボランティア、市内公共施設、市内民間施設、関係機関（道内社協等）		

⑧貸出事業

ボランティア・市民活動実践団体（者）の活動促進を図るため、物品や会議室を貸出しました。

- ・物品貸出：プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー、書籍、福祉学習ビデオ等
- ・ミーティング室貸出 ・印刷室貸出：印刷機、紙折り機、裁断機等

⑨網走市市民活動センターホームページ管理運営

⑩助成金情報の提供及び助言の実施

市民活動実践団体が、充実した事業推進が行なえるよう、助成金情報提供、相談対応及び助言を行ないました。

⑪各種収集事業実施団体の支援

センター内に回収ボックスを設置し、市民からの支援品を回収事業実施団体に届ける橋渡しや窓口を随時行ないました。※主な回収事業：ペットボトルキャップ、ベルマーク、書き損じハガキ、古切手

(2) 子育てサポートセンター事業（市委託事業）

子育ての支援を受けたい方（依頼会員）と子育ての支援を行いたい方（協力会員）の会員制の組織で会員相互による子育ての支援活動を行ないました。

①登録会員数

年度	依頼会員	協力会員	両方会員	合計
平成28年度	175名	97名	21名	293名
平成29年度	191名	102名	19名	312名
平成30年度	213名	103名	18名	334名

②相談件数

年度	件数
平成28年度	907件
平成29年度	406件
平成30年度	390件

③依頼会員への事業説明対応

年度	件数
平成28年度	16件
平成29年度	32件
平成30年度	31件

④活動内容集計

活動内容	回数
保育施設等の開始前・終了後の預かり	29
学校開始前・終了後の預かり	44
子どもの病気時の預かり	0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事等の際の預かり	1
親や他の子どもの通院や検診等の際の預かり	9
保護者の就労や求職の際の預かり	31
買い物や外出の際の預かり	4
その他預かり	0
自宅や祖父母宅への送迎	36
保育施設等への送迎	52
習い事への送迎	25
学校への送迎	70
合 計 (前年度342回)	301

⑤協力会員登録講習会の開催

協力会員として活動していただくために、子育てに関する知識を体験や学ぶことを目的として開催しました。参加者が受講しやすい1日講習を取り入れました。

実施日	受講者
8月23日	2名
11月13日	1名
2月19日	1名

⑥スキルアップ講習

網走市子育てサポートセンターに登録している会員が、子育てや子育て支援を行う際、より安全で安心した育児活動が行える学習や意見交換等の場として実施しました。

回	期日	内容	参加者
第1回	7月27日	知っておきたい応急手当	会員5名（依頼1、協力4）
第2回	10月9日	色を活用してよりよい援助につなげよう！	協力会員16名

⑦会報「あおぞら」の発行

会員および市民に、各種事業の報告や支援活動の様子を周知しました。

発行日	11月30日（第24号）
配布先	登録会員、関係機関等（市・保健センター、子育て支援センター等）
発行部数	700部

(3) 生活支援体制整備事業の受託運営

当事業は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって生活できる環境を作るために、関係機関や地域住民等と連携を図りながら、地域資源やニーズの調査、必要な生活支援サービスの開発、担い手の発掘や育成づくり、ネットワークの構築を行なう「生活支援コーディネーター」を配置して、地域に支え合い活動を広げるための取り組みを行なっている事業です。平成29年度4月1日より網走市から受託し、生活支援コーディネーターが主体となって業務を遂行しています。

事業開始から2年目となる平成30年度については、前年度に引き続き当事業の市民周知に努めるとともに、第二層の基盤整備（協議体及び生活支援協力員の設置）を充実させ、エリア圏域内での取り組みを進めるための組織化を重点目標に実施しました。

①関係機関との連携体制の推進

網走市地域福祉会議（第一層協議体）に対して情報を提供し、協議を進めました。

タイトル	とき	場所	参加者数
第1回網走市地域福祉会議 事務担当者会議	平成30年 6月11日	福祉センター	16名
第1回網走市地域福祉会議	平成30年 7月 6日	福祉センター	19名
第2回網走市地域福祉会議 事務担当者会議	平成31年 1月30日	福祉センター	13名
第2回網走市地域福祉会議	平成31年 2月12日	福祉センター	20名

②各種広報媒体を通じた事業周知

広報媒体を活用して、地域包括ケアシステムの問題や市民による地域づくり、高齢者の社会参加の必要性等の周知・啓発を行いました。

掲載内容	住み慣れた地域で生活していくための豆情報 ～連載～
掲載号	網走市社会福祉協議会広報誌「ふれ愛めーる」 107号（H30.7月）：「老人クラブ」をテーマ 108号（H30.10月）：「民生委員・児童委員」をテーマ 109号（H31.2月）：「元気な高齢者になるために必要な3つのこと」
配布	全戸配布

③市民周知、関係団体構成員等への周知

説明場所（対象者）	対象者数等
老人クラブ	5クラブ 86名
町内会・老人クラブ・民生委員合同	22名
ふれあいの家	1件 13名

④社協「出前講座事業」へのメニュー化

「生活支援体制整備事業」については、継続的に市民周知を行い住民の理解と協力を求めていく必要があるため社協が実施している出前講座のリニューアルに併せてメニューの追加を行いました。

追加日	平成30年5月1日より
追加メニュー	みんなでつくろう！助け合いのある地域づくり～生活支援体制整備事業～
内容	年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを目指し、住民がどのような1歩を踏み出し、関わるのが大切か社会状況を踏まえ、「生活支援体制整備事業」「生活支援コーディネーターの役割」を説明する。
所要時間	45分程度

⑤第二層の基盤整備

第二層の構築を進めるため、地域の実情を踏まえながらアプローチを行いました。

地区名	取組み
西地区	「高齢者部会三役会」 ▶平成30年5月22日（火）10:00～13:00
北地区	「地域課題に見える化するワークショップ」（外部講師） ▶第1回：平成30年10月16日（火）18:30～20:30 ▶第2回：平成30年11月16日（金）18:30～20:30 ▶第3回：平成31年 1月17日（木）18:00～20:00 「地域課題の解決に向けた懇談会」 ▶第1回：平成31年 3月12日（火）18:00～19:50
向陽ヶ丘地区	「向陽ヶ丘レインボーハイツ運営推進会議」に出席 ▶第1回：平成30年11月26日（月）18:00～19:30
台町地区	「すろーらいふ台町運営推進会議」に出席 ▶第1回：平成31年 2月 1日（金）15:30～16:50
呼人地区	「呼人のこれからの考えるキックオフミーティング」を実施 ▶第1回：平成31年 3月22日（金）18:30～20:15
鉄南地区	調整中（令和元年5月23日の開催に向けて調整中）

⑥エリア圏域別の基礎情報の収集（地域アセスメント）

第二層協議体設立に向けた取組みを進める上で、地域の把握を目的に基礎情報の収集を行い、地域アセスメントを作成しました。

取組み方法	第二層構築への取組みに併せ、地域の基礎情報の収集を行い、網走市と連携して「地域アセスメントシート」を随時作成しました。
活用方法	第二層の取組みを進めるにあたり、地域の基礎情報の共有ができるよう提供しました。

II. 生活福祉事業の推進

1. 生活困窮相談支援

(1) 生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

平成26年度から受託している当事業は、新規の相談件数は59件でした。継続相談は、前年度の514件から539件に増加しました。相談内容では、生活に対する金銭的な不安のほか、負債、就労に係る相談が増加しており、法テラスやNPO法人との連携が必要なケースが増えました。

○相談件数539件（前年度514件） うち新規相談59件（前年度63件）

○相談内容内訳（複数回答）

	相談内容									合計
	家計	就労	住居	健康	介護	負債	家族	教育	その他	
28年度	218	116	—	48	40	27	85	15	81	630
29年度	225	95	59	53	12	47	40	3	99	633
30年度	246	136	52	55	4	141	58	15	70	777

(2) 生活福祉資金及び総合支援資金貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

○貸付実績

2件 4,224,000円（前年0件）

(3) 生活費緊急資金及びボランティア援護資金貸付事業の実施

○生活費緊急支援資金貸付実績

貸付件数：10件（前年2件）、貸付金：178,000円（前年70,000円）

○ボランティア援護資金貸付実績

貸付件数：15件（前年8件）、貸付金：193,000円（前年127,000円）

(4) 災害見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行ないました。

支給実績：2件 30,000円

(5) 身体障がい者生活器具給付事業の実施（アイスピック・ストーマ等）

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として実施しています。

給付実績：ストーマ 16件（前年度16件）1人 10,000円（合計160,000円）

アイスピック 0件（前年度 1件）

2. 権利擁護

(1) 成年後見相談支援事業の受託運営

○市民後見人支援活動

8名の市民後見人が新たに誕生しました。

毎月、市民後見人連絡会議を開催し、担当ケースの支援について情報交換、意見交換を行ないました。

○市民後見人養成研修の実施（隔年実施・当年度は未実施）

○連続講座の開催

開催日	内容	参加者数
6月3日	成年後見信託について	44名
8月5日	流氷の町で権利擁護を考える	33名

○権利擁護事業市民従事者研修会の開催

開催日	内容	参加者数
6月3日	認知症患者センターについて他	18名

○権利擁護フォーラムの開催（成年後見講演会）

市民向けのフォーラムを開催。市民の関心の高さが伺えました。

開催日	内容	参加者数
11月18日	「市民後見人でつくろう、地域の明日の底力」	41名

○相談支援事業

相談件数84件（前年度91件）

相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	相続等	合計
件数	9	27	25	23	84

○運営協議会の開催

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	5月10日	・平成29年度事業報告・決算、活動報告
第2回	2月7日	・釧路家裁網走支部からの後見人等候補者推薦依頼について
第3回	3月15日	・成年後見新規申立て案件に対する市民後見人の推薦について ・平成31年度事業計画案、予算案、市民後見人養成研修の実施について

(2) 日常生活自立支援事業の受託運営(道社協委託事業)

福祉サービス利用援助事業として業務を行ない、当年度で3年目を迎えました。

○契約者数

年度開始時契約者数	新規契約	解約	年度末時契約者数
8名	3名	6名	5名

○自立生活支援員登録者数

8名(平成31年3月31日現在)

Ⅲ. 在宅福祉事業の推進

(1) 指定訪問介護事業所の経営

- ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施(第1号訪問介護)

○サービス提供実績(延訪問数)

介護度	要支援		要介護					事業対象	計	1日平均
	1	2	1	2	3	4	5			
年総計										
平成28年度	1,056	1,274	2,290	2,065	1,503	182	483	294	9,147	25.1
平成29年度	954	1,033	1,695	2,788	1,162	247	829	700	9,408	25.8
平成30年度	612	796	1,623	1,724	1,170	783	153	1,124	9,026	24.7

- ・指定居宅介護事業所の経営(主に身体障がい者・精神障がい者のホームヘルプ)

○サービス提供実績

年度	延訪問数(回)	1日平均(回)
平成28年度	1,043	2.9
平成29年度	1,297	3.6
平成30年度	1,041	2.9

(2) 指定地域密着型通所介護事業所の経営

- ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施(第1号通所介護)

○サービス提供実績(延人員)

介護度	要支援		要介護					事業対象	計	1日平均
	1	2	1	2	3	4	5			
年総計										
平成28年度	551	902	973	744	114	25	68	358	3,735	14.5
平成29年度	295	555	952	944	269	213	29	475	3,732	14.5
平成30年度	196	536	839	651	385	358	70	799	3,834	15.0

○網走市老人デイサービスセンターの施設について、指定管者理制度に基づく管理業務を行いました。

(3) 外部サービス利用型指定共同生活援助(グループホーム「ひまわり」)の経営

○サービス管理責任者を配置し、適切に事業運営を行ないました。

○サービス提供実績 ※現入居者7名（入居定員7名）

年度	延利用日数 (日)	平均利用者数 (人)
平成28年度	2,349	6.44
平成29年度	2,525	6.92
平成30年度	2,472	6.77

○ミーティングの実施

期日	参加者	内容
毎週金曜日	入居者、関係者	参加者それぞれの生活状況の確認や助言等を行なう。

○世話人の質の向上を図り、入居者のニーズを踏まえた自立支援の提供に努めました。

(4) 受託事業

高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）

○生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 27世帯（H31.3.31現在）

○生活援助員の質の向上と利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。

家族介護者交流事業（リフレッシュの集い）

期日	場所	参加者
10月20日	網走市総合福祉センター	家族20名、要介護者7名、スタッフ・ボランティア約50名

IV. 法人運営事業の推進

1. 社協事業

役員等が本会の「経営理念」を常に念頭に置き、この理念に基づく事業の推進を図りました。

(1) 理事会・評議員会の定例開催等

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会等を開催しました。

また、社会福祉法人制度改革により必置となった評議員会を適時開催し、事業運営の透明性の向上に努めました。

月日	名称	主な案件	出席者数
5月24日	決算監査会	平成29年度決算監査	監事2名
6月8日	第1回理事会	災害救援活動の支援に関する協定の締結について、臨時職員就業規程の一部改正について、平成29年度事業報告・決算報告・監査報告	理事11名、監事1名
6月25日	第1回評議員会	平成29年度事業報告・収支決算報告・監査報告、理事の選任について	評議員11名他
9月21日	第2回理事会	会務報告について、網走市社会福祉協議会職員の不祥事件について	理事12名、監事2名
9月21日	第2回評議員会	網走市社会福祉協議会職員の不祥事件について	評議員10名他
10月11日	第1回監査会	総務地域福祉課の業務執行状況監査（契約関係、労務関係等）	監事2名他
12月11日	第2回監査会	介護事業上半期の経営状況について、在宅福祉課の業務執行状況監査	監事2名他
12月18日	第3回理事会	会務報告、監査報告、不祥事件に係る再発防止策について	理事13名、監事2名
3月12日	第3回監査会	介護事業第三四半期の経営状況について	監事1名他
3月22日	第4回理事会	就業規則の一部改正について、日常業務における会長の専決事項についての一部改正について、平成30年度補正予算案について、平成31年度事業計画案について、平成31年度収支予算案について、事務局長の選任について	理事12名、監事1名
3月29日	第2回評議員会	平成30年度補正予算案について、平成31年度事業計画案・収支予算案について、理事の選任について、監事の選任について	評議員10名他

(2) 役員研修、会議等の参加

月日	事業名	会場	参加者
5月31日	オホーツク管内市町村社協会長事務局長会議	エコセンター	会長、事務局長
6月18-19日	全道市町村社協会長局長研究協議会等	札幌市	会長、事務局長
3月7-8日	オホーツク管内市町村社協会長事務局長会議（第2回）	北見市留辺蘂	会長、事務局長

(3) 永年役員・評議員功労者の表彰（社協会長表彰）

社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰しました。

永年役員表彰	黒田幸市、江田卓雄
--------	-----------

2名（敬称略・順不同）

(4) 情報開示の徹底

社協情報紙「ふれ愛めーる」を全戸配布しました。

発行日	機関紙名	付記
7月20日	ふれ愛めーる第107号	全戸配布
10月20日	ふれ愛めーる第108号	全戸配布
2月22日	ふれ愛めーる第109号	全戸配布

事業計画、事業報告、収支予算、収支決算を機関紙及びホームページに掲載しました。

(5) 法令遵守の徹底

(6) 経営基盤の強化

①社会福祉充実残額の算定と計画立案の要否確認

社会福祉充実残額算定の結果、計画立案の必要がありませんでした。

②中期財政計画の検討（職員処遇改善費、退職金積立、事業人件費、固定資産等更新）

当初の計画どおり、退職金等を積立てました。

③会員会費制度の整備充実

○会員会費実績

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
28	1,196,300円	432,000円	691,500円	2,319,800円
29	1,178,300円	390,000円	696,500円	2,264,800円
30	1,143,700円	376,000円	678,500円	2,198,200円

④共同募金配分金等の寄付金による事業の適正な実施

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○赤い羽根共同募金助成金 554,188円

内容 広報啓発事業（ふれ愛めーる発行費用） 554,188円

○歳末たすけあい募金助成金 1,364,135円

内容

	事業名	金額	備考
1	ヤングボランティア育成事業	160,000円	
2	ボランティア育成事業	60,000円	
3	住民福祉活動推進事業	523,935円	ポップコーン機、レクリエーションゲーム等備品貸出事業
4	福祉教育学習用具整備事業	205,200円	疑似体験セット購入
5	地域福祉推進事業	150,000円	地域福祉推進事業助成金
6	被災者世帯見舞金贈呈事業	100,000円	火災見舞、ストーマ等
7	ふれ愛ひろば網走開催事業	90,000円	
8	事務経費（共同募金会へ）	75,000円	

⑤高額寄付者への感謝状贈呈（社協会長顕彰） 平成30年度 1件

⑥介護保険事業及び障害者総合支援事業の安定経営に努めました。

⑦職員処遇改善計画の維持管理に努めました。

⑧各福祉団体への支援を行ないました。 ※寄附金による当事者団体等への助成

(7) 備品貸出事業

地域福祉の推進を目的として、地域の行事やイベントで活用可能な備品の貸し出しを行ないました。

○利用実績

件数	主な貸出備品／利用者
34	ワンタッチ式テント、かき氷機、折りたたみテーブル・イス / 介護・福祉施設、町内会

(8) 事務局体制の整備

- ①事務局会議を定例開催しました。
- ②事業内容・規模に応じた職員体制の確保に努めました。
- ③職員の資質向上のため職員研修の強化に努めました。(社会福祉士、介護福祉士等の資格取得)
- ④事務・事業執行の連携強化に努めました。
- ⑤独自研修の開催

月日	研修名	研修内容	出席者数
5月9日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「資質向上(生活援助)」	ホームヘルパー等15名
5月23日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「服薬介助について」	ホームヘルパー等16名
5月16日	自衛消防訓練	通報訓練、避難訓練、消火訓練	本部施設職員等47名
6月6日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「脱水について」	ホームヘルパー等16名
6月20日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「介護保険について」	ホームヘルパー等17名
8月8日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「脱水について」	ホームヘルパー等15名
8月22日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「接遇について」	ホームヘルパー等16名
11月7日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「認知症について」	ホームヘルパー等13名
11月9日	自衛消防訓練	通報訓練、避難訓練	本部施設職員等39名
11月21日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「緊急時対応(事例)」	ホームヘルパー等17名
12月12日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「感染症について」	ホームヘルパー等16名
12月14日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「感染症について」	ホームヘルパー等2名
12月26日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「基本理念」	ホームヘルパー等16名
2月20日	介護職員研修	ホームヘルパー内部研修「プライバシーについて」	ホームヘルパー等18名
3月11日	職員研修会	障がいのある方への職員対応マニュアルについて、生活支援体制整備事業について、社協職員行動原則について	職員24名

⑥各種研修会・会議への参加

月日	行 事 名	場 所	参加者
4月19日	オホーツク管内老人福祉施設協議会総会・施設長研修会	北見市留辺蘂	金野課長
5月10日	新人職員マナー研修	札幌市	成田
5月10日	北海道エアラインストラクター及び生活支援コーディネーター意見交換会	東京都	山中主幹
5月11日	平成30年度県レベル担当者会議(生活支援体制整備事業)	東京都	山中主幹
5月30日	ケアマネ連協研修会「認知症高齢者の対応と薬物療法について」	エコセンター	高橋係長他
6月6日-8日	全道新任社協職員研修会	札幌市	成田
6月9日	普通救命講習	消防南出張所	在宅福5名、デイ2名
6月14日	オホーツク圏ボランティア活動推進会議	エコセンター	松野
6月17-18日	サービス提供責任者研修セミナー	札幌市	松野(千)
6月18-20日	北海道サービス管理責任者研修 第3分野 地域生活(知的・精神)	札幌市	安藤(GH世話人)
6月25-26日	生活福祉資金貸付事業研修会	札幌市	高岡
7月5日	オホーツク管内社協職員連絡協議会	網走観光ホテル	山中主幹他
7月10日	第1回オホーツク管内生活困窮者自立支援事業担当者意見交換会	紋別市	大西、高岡
7月13日	多重債務相談等に係る勉強会	北見市	大西、高岡
7月16-19日	日常生活自立支援事業専門員研修会(全社協主催)	東京都	大津山主任
7月17日	平成30年度網走地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク	大西、高岡

月日	行 事 名	場 所	参加者
7月21日	医療・介護従事者等研修会 多職種つながろうプロジェクト	セントラルホテル	高橋係長ほか
7月24日	管内生活支援コーディネーター懇談会	福祉センター	山中主幹
7月24-25日	権利擁護人材養成市町村セミナー	札幌市	大津山主任
7月25日	ケア連協研修「介護サービス担当者のための簡単ストーマ学習」	エコセンター	寺中、高松
7月25日	網走保健所自殺予防対策研修の開催について	網走保健所	安藤洋
8月2日	平成30年度全道生活困窮者自立支援制度担当者会議	札幌市	大西主任
8月3日	認知症疾患医療研修会「周辺症状と薬物療法について」	向陽ヶ丘病院	金野課長他
8月19日	意思決定支援ツール活用研修	伊達市	大津山主任
8月22日	平成30年度介護事業者共同化促進事業説明会	振興局	金野課長
8月23日	介護職員健康確保セミナー「腰痛対策講習」	北見市	高橋係長
9月13日	職業訓練校 介護職員求人説明会	職業訓練校	高橋係長、松野
10月3日	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導 平成30年介護保険施設等及び有料老人ホームに対する集団指導	エコセンター	高橋係長他
10月6日	精神障がい者支援の展望と期待	北見市	大津山主任
10月8日	相談支援専門員とサービス管理責任者等の合同研修	遠軽町	高橋、安藤幸
10月12日	平成30年度地域における権利擁護システム構築セミナー	札幌市	大津山主任
10月12日	網走市新人介護スタッフ研修会	エコセンター	藤谷、末木、池下
10月13日	平成30年度在宅医療多職種合同研修会 「最期まで自分らしく」を支える多職種連携	振興局	松野(千)・三原
10月22日	平成30年度 感染症胃腸炎予防対策講習会	エコセンター	阿部、安藤幸
10月23日	平成30年度日本司法支援センター釧路地方協議会	北見市	大西、高岡
10月24日	認知症疾患事例検討会	エコセンター	大津山主任
10月25日	オホーツク障がい福祉セミナー2018 in 網走	エコセンター	高橋係長、藤谷他
10月31日	北海道地域生活支援センター自立生活専門員研修会	エコセンター	大津山主任
11月5-6日	平成30年度「生活福祉資金貸付事業研修会」	札幌市	高岡
11月9日	第2回オホーツク管内生活困窮者自立支援事業担当者意見交換会	紋別市	大西主任、高岡
11月10日	オホーツク圏域ボランティア・市民活動フォーラム	端野町	松野
11月10-11日	権利擁護実践研修会	札幌市	大津山主任
12月8日	普通救命講習「成人に対する応急手当」	網走消防署	ヘルパー2名
12月10日	平成30年度障がい者就労支援連絡会	北見市	大西、高岡
12月11-12日	生活支援コーディネーター連絡会議	札幌市	山中主幹
12月12日	平成30年度網走地区災害ボランティア組織連携会議	エコセンター	松野
12月15日	認知症サポーター養成講座	エコセンター	在宅福祉係4名
1月15-16日	災害ボランティアコーディネーター養成研修	北見市	松野
1月18日	医療と介護の連携を深める 多職種連携ワークショップ	厚生病院	高橋係長他3名
1月28-29日	平成30年度市町村成年後見センター等連絡会議	札幌市	大津山主任
2月19日	くらしの生活安全セミナー	エコセンター	局長、課長他
2月19-20日	相談支援従事者研修【基本研修】(サービス管理責任者向け)	北見市	安藤幸
2月21日	第3回オホーツク管内生活困窮者自立支援事業担当者意見交換会	紋別市	大西主任、高岡
2月21日	地域移行研修会(北網圏域)「精神障がい者の理解と支援」	北見市	高橋係長、安藤幸
3月2日	北海道ホームヘルプサービス協議会 網走地区資質向上研修	エコセンター	松野、三原
3月6日	認知症の方のせん妄の要因と適切なケア	向陽ヶ丘病院	末木
3月8日	オホーツク管内老人福祉施設協議会 斜網ブロック施設長会議	ふれあい館	金野課長
3月9日	普通救命講習「成人に対する応急手当」	網走消防署南出張所	ヘルパー4名 デイ2名
3月20日	研修 事業所紹介・「すこやか宅配プログラム体験学習」	エコセンター	高橋係長 大友、小野

2. 受託事業

(1) 網走市総合福祉センターの指定管理受託

駐車場が狭いという課題はありますが、指定管理者制度に基づき管理者として、適切に管理しました。

当年度は利用団体の解散等により、団体利用が減少しましたが、近年は高齢者の個人利用が増えています。

項 目		28年度	29年度	30年度
団 体	団体数	902	661	651
	人 数	8,568	8,478	8,193
個 人	老 人	6,025	6,411	6,008
	母 子	125	97	15
	身 障	4,188	4,142	4,313
	精神障がい等	312	249	231
	小 計	10,650	10,899	10,567
合 計		20,987	19,377	18,760

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	31年1月13日	カレンダー市、演芸等発表会、300人來館
利用者調整会議	31年3月5日	平成31年度利用について協議
消防訓練 (避難・通報・消火訓練)	5月16日、11月8日	網走市老人デイサービスセンター、網走市子ども発達支援センターと合同で実施

(2) 網走市老人デイサービスセンターの指定管理受託

(3) 網走市福祉バス運行管理事業の受託

項 目	28年度	29年度	30年度
運行回数	93	78	98
利用人員	2,136	1,957	2,263

(4) 団体事務の運営

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。(●印は市からの業務委託団体)

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会